

「東安居苑」 令和4年度 事業報告書 (No.1)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

地域包括ケアの中核拠点として各事業所の特色を活かしたサービスの提供により、施設理念「安全・安心・安楽のある普通の暮らしを支援する」を実践する。

1. 事業の概況

(1) 業績

(単位：千円)

	3年度 実績	当初予算	4年度 実績	前年度 増減	予算 差異
①事業活動収入	340,792	345,654	342,249	1,457	-3,405
②事業活動支出	331,195	314,214	317,112	-14,083	2,898
(人件費・県退職共済掛金含む)	234,024	234,688	231,046	-2,978	-3,642
事業活動資金収支差額	9,597	31,440	25,137	15,540	-6,303
③施設整備等収入	0	0	1,342	1,342	1,342
④施設整備等支出	140,848	2,929	4,564	-136,284	1,635
施設整備等資金収支差額	-140,848	-2,929	-3,222	137,626	-293
⑤その他の活動による収入	150,557	0	2,047	-148,510	2,047
⑥その他の活動による支出	33,328	18,569	18,843	-14,485	274
その他の活動資金収支差額	117,229	-18,569	-16,796	-134,025	1,773
当期資金収支差額	-14,022	9,942	5,119	19,141	-4,823

(業績の内訳)

(単位：千円)

① 事業活動収入

	3年度 実績	当初予算	4年度 実績	前年度 増減	予算 差異	4年度 構成比
特別養護老人ホーム(定員29名)	165,206	166,644	168,535	3,329	1,891	49.2%
短期入所(定員10名)	45,362	46,189	49,220	3,858	3,031	14.4%
小規模多機能(定員29名)	81,383	84,121	78,583	-2,800	-5,538	23.0%
地域包括支援センター	48,841	48,700	45,911	-2,930	-2,789	13.4%
合計	340,792	345,654	342,249	1,457	-3,405	

(増減及び差異の要因)

- ・施設入所…施設内コロナ感染を発生させるも、介護度(4.1)、稼働率(99.2%)と前年並み。収益維持。
- ・短期入所…コロナ感染対策による入退所制限が稼働率を上げる結果となる。予算クリア。
- ・小規模多機能…居宅サービスのためコロナ対策の影響を強く受ける。  
感染疑いによる突然の利用停止、契約の延長等負担が増え予算未達。
- ・包括支援センター…専門職の体調不良による欠員のため、市からの委託金減少(7~2月(8か月間)▲3,333千円)

(単位：千円)

② 事業活動支出

	3年度 実績	当初予算	4年度 実績	前年度 増減	予算 差異
人件費(県退職共済掛金除く)	232,196	232,852	231,050	-1,146	-1,802
(人件費率)	68.1%	67.4%	67.5%	-0.6%	0.1%
事業費	34,092	33,409	35,546	1,454	2,137
(給食費)	14,050	14,122	13,754	-296	-368
(保健衛生費)	875	999	1,124	249	125
(水道光熱費)	10,281	10,043	11,727	1,446	1,684
(消耗器具備品費)	1,720	1,380	1,278	-442	-102
事務費	64,907	47,953	50,516	-14,391	2,563
(修繕費)	17,051	1,552	2,733	-14,318	1,181
(業務委託費)	27,497	27,036	28,070	573	1,034
(事務消耗品費)	547	564	534	-13	-30
合計(雑収入等含む)	331,195	314,214	317,112	-14,083	2,898

(増減及び差異の要因)

- ・人件費…ベテラン職員1名6月より病欠。コロナ感染対策として自宅待機者への休業補償(143日分)。
- ・事業費…(水道光熱費)使用量は削減できたが、単価高騰により約1,597千円(前年対比115.9%)増加。  
特に電気代の高騰が著しい(前年比122.7%)。  
(給食費)食材等の値上げなしで継続中。コロナクラスターの発生により利用率減で微減。
- ・事務費…(修繕費)厨房スチームコンベクション修理385千円、自家発電機設備修理269.5千円、特浴基板修理299.2千円により増。

③ 施設整備等収入の主な内訳

- ・施設内電灯のLED化に対する県助成金 1,342千円

④ 施設整備等支出の主な内訳

- ・固定資産取得 フードプロセッサ入替 133千円
- LED機器購入 2,000千円
- ・ファイナンス・リース債務の返済支出
- 施設用介護基幹システム(ほのぼの) 840千円
- 包括支援センターシステム 946千円
- 社用車1台分(ヴォクシー) 645千円

⑤ その他の活動による収入の主な内訳

- ・退職給付引当資産取崩分(3人分)として 2,047千円

⑥ その他の活動による支出の主な内訳

- ・退職共済積立金積立 2,051千円
- ・拠点区分間長期借入金返済支出 15,144千円  
(こしの渚苑への返済)
- ・法人本部負担金 1,648千円

(2) 稼働率の推移

	元年度	2年度	前年比	3年度	前年比	4年度	前年比
特養(定員29名)	99.2%	98.8%	▲0.4	98.8%	0.0	99.2%	0.4
短期入所(定員10名)	89.5%	91.3%	1.8	91.6%	0.3	92.4%	0.8
小規模多機能(定員29名)	91.1%	91.7%	0.6	92.5%	0.8	89.1%	▲3.4

(3) 平均介護度の推移

	元年度	2年度	3年度	4年度
特養	4.1	4.1	4.2	4.1
短期入所	2.9	3.0	2.7	3.0
小規模多機能	2.3	2.2	2.6	2.6

(4) 入所者の平均年齢の推移

	元年度	2年度	3年度	4年度
特養	90歳3ヶ月	91歳2ヶ月	89歳5ヶ月	87歳10ヶ月
短期入所	87歳7ヶ月	90歳1ヶ月	88歳4ヶ月	87歳9ヶ月
小規模多機能	87歳7ヶ月	88歳1ヶ月	85歳10ヶ月	85歳4ヶ月

(5) 特養の入居者について

	元年度	2年度	3年度	4年度
入所者数	14	14	18	14
退所者数	14	12	18	14
(看取り内数)	7	9	15	12
入院者数	13	10	8	7
(入院延日数)	309	233	135	189
待機者数	56	40	33	22
要介護3以上内数)	51	36	28	18

(6) 加算の取得状況

- ・施設、短期、小規模 ベースアップ等支援加算申請(10月～)

2. 年間行事

※毎月 誕生会

4月	・お花見(ドライブによる車中から)	10月	・焼き芋会・いちほまれ会・いきいき展参加
5月	・ドーナツパーティなど各ユニットで企画催し物実施	11月	・目の前クッキング・紅葉ドライブ
6月	・花見茶屋など各ユニットで企画催し物実施	12月	・クリスマス会・ワクチン接種・かに食事会
7月	・七夕祭(個別開催)・防災訓練	1月	・書初め・甘酒作り・新年会
8月	・納涼祭・各ユニットでの夏季レクリエーション	2月	・目の前クッキング
9月	・敬老会・運動会・ワクチン接種	3月	・ひな祭り会・寿司バイキング・防災訓練

・少人数による食事イベント、施設周りの外出で高齢者の健康維持を数多く実施。家族参加はなかった。

3. 職員の状況

(1) 資格別・職員構成比状況

令和4年3月31日現在

	3年度							4年度							
	正職員		非正職員		合計			正職員		非正職員		合計			
	男	女	男	女	男	女	計	男	女	男	女	常勤換算	男	女	計
施設長	1				1	0	1	1					1	0	1
介護職員	7	21	0	14	7	35	42	6	20	0	12	8.8	6	32	38
介護福祉士	6	18		11	6	29	35	5	18		10	7.8	5	28	33
訪問介護員				1	0	1	1						0	0	0
資格なし	1	3		2	1	5	6	1	2		2	1.0	1	4	5
看護職員	1	4		4	1	8	9	1	4		4	3.5	1	8	9
生活相談員		1			0	1	1						0	0	0
社会福祉士	1				1	0	1	2					2	0	2
ケアマネ	1	4			1	4	5		5				0	5	5
栄養士		1			0	1	1		1				0	1	1
事務職員		2		1	0	3	3		2		1	0.5	0	3	3
その他			3	1	3	1	4		2	1	1.0	2	1	3	
合計	11	33	3	20	14	53	67	10	32	2	18	13.8	12	50	62
構成比	65.7%	34.3%	21%	79%	67.7%	32.3%	19%	81%							

※ 資格取得状況： 介護福祉士 39(0)名 介護支援専門員 11(0)名 主任介護支援専門員 3(0)名  
 認知症介護実践者研修 26(0)名 認知症介護リーダー研修 10(0)名  
 介護福祉士養成実習指導者研修 2(0)名

※ 休暇：育児休暇 4名(男性0名、女性4名) ( )内は、今年度取得人数

(2) 採用状況

(3) 離職状況

	3年度					4年度					3年度			4年度					
	雇用形態		介護経験		合計	雇用形態		介護経験		合計	雇用形態			雇用形態					
	正職員	非正職員	有	無		正職員	非正職員	有	無		合計	正職員	非正職員	合計	正職員	非正職員	合計		
介護職員	1	1	1	1	2	1	1	2	0	2	1	0	0	1	2	0	3	1	5
介護福祉士					0	1	1	2		2	1			1	1		2	1	3
訪問介護員		1	1		1					0				0	1		1		2
資格なし	1			1	1					0				0					0
看護職員					0					0				0					0
生活相談員					0					0				0	1				1
社会福祉士					0					0	1			1					0
ケアマネ					0	1		1		1				0					0
栄養士					0					0				0					0
事務職員		1			1					0				0					0
合計	1	2	1	1	3	2	1	3	0	3	2	0	0	2	3	0	3	1	6

離職理由：病気 3名、転職 1名、結婚 1名、高齢による退職 1名

(4) 職員のキャリアアップ及び研修について

月	研修名	場所	内容	参加者
5	初心者研修	Web研修	対人援助の専門性	1名
6	認知症基礎研修	Web研修	認知症の理解・最低限の知識の獲得	1名
6	リスクマネジメント研修	Web研修	介護事故とリスクマネジメント	2名
7	認知症の方への関わり方	Web研修	認知症の方と家族の関わり方	2名
9	介護報酬請求に関する説明会	Web研修	R4年度	2名
9	介護職員のメンタルヘルス	Web研修	バーンアウトを知る	1名
9	新型コロナウイルス感染症対策研修会	Web研修	現状のコロナ対策と今後	3名
12	個別避難計画の課題と対策	Web研修	市町災害時対応力強化など	2名
12	高齢者虐待防止	Web研修	コロナ禍における高齢者虐待	1名
2	Z世代・ゆとり世代と施設の人生会議	Web研修	Z世代ゆとり世代の社員がやめない職場作り	2名
通年	施設内勉強会(7回)	東安居苑	身体拘束、安全対策、認知症、感染予防、虐待防止、褥瘡対策等	職員延242名

4. 地域貢献等について

① 地域貢献

- (1) 配食サービス 小規模多機能事業所の登録されている方のみ(ほおずき)
- (2) 地域デイホーム 地域住民に対する健康相談を開催(ほやねっと光)  
(コロナ感染症対策のため、公民館などに集まってサービスができないことが多かった。)

② 地域交流

- (1) 東安居小学生に対する高齢者サポーター講座(ほやねっと職員が東安居小学校に出向く。)
- (2) いきいき展に利用者作品出品

5. 苦情、家族会、その他

① 苦情受付

- ・1件受付(利用者の家族に対する職員の接遇に関する1件)  
話し合いの上、ご家族にご理解いただきました。

② 防災訓練

- ・火災に対する避難訓練…7月、3月(2回実施)
- ・風水害に対する避難訓練…7月書面による備蓄品の確認に切替え実施(1回実施)
- ・緊急連絡網確認訓練(アプリ採用)…8月(1回実施)(防犯訓練は、警察と打合せの上、延期とした)

③ 運営推進会議…年6回開催(うち4回は、感染症対策のため書面での会議として開催した)

④ 介護実習の受入…福井県医療福祉専門学校、介護労働安定センター(福井大学は中止となる)

6. 理事会への報告事項

- ・施設内新型コロナクラスター発生
  - ・施設介護(2月) 感染者:利用者6名、職員1名
  - ・短期入所(11月) 感染者:利用者8名、職員5名

- ・令和4年度「福井県福祉施設における省エネ設備等支援事業」を活用し施設の電灯をLED化  
2,000千円(内、県からの助成金は1,342千円)(横山電機発注)

- ・6回目新型コロナワクチン接種 5月下旬実施予定

- ・クラスター発生時の福井県補助金「福祉サービス継続支援事業補助金」  
特養分として1,712千円、短期入所分として2,221千円  
は、未収入金として計上しております。